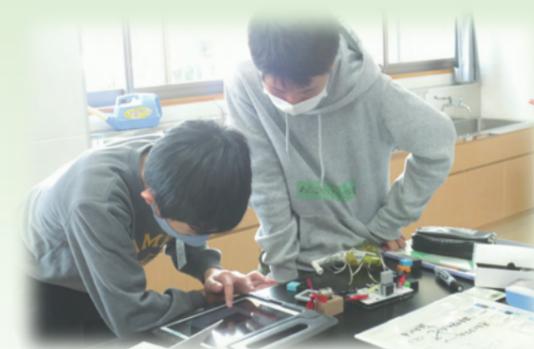


# 第7次福島県総合教育計画

〈「学びの変革」の推進に向けて〉



## 6つの施策の主な取組

**施策1** 「学びの変革」によって資質・能力を確実に育成する

**主な取組**

- 学校段階を見通した確かな資質・能力の育成
- 複雑な社会の課題を主体的に解決する力の育成
- ICT活用などによる学びの変革
- 創造性あふれる人材の育成
- エビデンス(根拠)に基づいた教育施策の推進

**施策2** 「学校の在り方の変革」によって教員の力、学校の力を最大化する

**主な取組**

- 教職員の働き方改革の推進
- 教員の養成・採用・研修
- チームとしての学校マネジメントの推進
- 学校の特色化・魅力化の推進

**施策3** 学びのセーフティネットと個性を伸ばす教育によって多様性を力に変える土壌をつくる

**主な取組**

- 地域で共に学び、共に生きる共生社会の形成に向けた特別支援教育の充実
- 不登校児童生徒、帰国児童生徒、外国人児童生徒等への個別支援の充実
- 家庭教育支援、家庭の経済的支援の充実

**施策4** 福島で学び、福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育を推進する

**主な取組**

- 学校と地域の連携・協働の推進
- 東日本大震災・原子力災害の教訓の継承、福島の今と未来の発信
- 福島イノベーション・コースト構想を担う人材の育成

**施策5** 人生100年時代を見通した多様な学びの場をつくる

**主な取組**

- 生涯にわたり健康マネジメント能力など学び続ける力の育成
- 地域における多様な活動機会の充実
- 生涯学習の機会の充実
- 地域に根ざした文化の継承と活用

**施策6** 安心して学べる環境を整備する

**主な取組**

- 少人数教育の充実
- 避難地域12市町村などの特色ある教育
- 学びを支える施設設備等の整備
- 防災、危機管理などの安全安心な学校づくり
- 私立学校の教育条件の維持・向上
- 公立大学における人づくり

## 主な指標

指標	現況値	目標値(令和12年度)	施策との主な関連
地域の課題を解決するための提言や、社会に貢献する何らかの活動を行った生徒の割合(高校在学中)	17% (※1～3年生全体での調査結果のため参考値) (令和2年度)	100%	施策1 施策4
ふくしま学力調査の結果の経年比較により、学力が伸びた児童生徒の割合(小・中学校)	小学校 国語 83.5% 算数 73.5% 中学校 国語 76.3% 数学 70.8% (令和3年度)	100%	施策1
全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との比較値(小・中学校)	小学校(6年生) 国語 99 算数 95 中学校(3年生) 国語 101 数学 96 (令和3年度)	102以上 100以上 102以上 100以上	施策1 施策4
中学3年生のうちCEFR A1以上(英検3級以上相当)高校3年生のうちCEFR A2以上(英検準2級以上相当)の英語力を有する生徒の割合	中学校 37.3% 高等学校 34.7% (令和元年度)	50.0%	施策1 施策4 施策5
全国体力・運動能力、運動習慣等調査における新体力テストの全国平均との比較値(小・中学校)	小5男子 98.9 小5女子 101.1 中2男子 99.3 中2女子 100.1 (令和元年度)	100.0以上 101.9以上 100.0以上 100.2以上	施策1 施策5
肥満傾向児出現率の全国平均との比較値(幼・小・中・高)	133.8 (令和元年度)	100	施策5
不登校の児童生徒数(1,000人当たり)	小・中学校 17.8人 高等学校 7.3人 (令和2年度)	数値は毎年度把握し分析する(目標値は設定しない)	施策3
地元自治体や企業等と共に課題解決に向けた学習活動を実施した学校、または探究学習等を基に地元自治体に政策の提言等を行った学校の割合(高等学校)	現況値なし	100%	施策1 施策4
学校における震災学習の実施率(小・中学校)	30.7% (参考値) (令和2年度)	100%	施策4 施策6
児童生徒が自身の健康課題を認識し解決する力を育成するため、自分手帳を活用している学校の割合	小学校 95.5% 中学校 87.9% 高等学校 23.3% (令和2年度)	100%	施策1 施策5
時間外勤務時間月80時間及び45時間を超える教職員の割合	80時間超 小学校 5.4% 高等学校 12.8% 中学校 31.1% 特別支援学校 2.9% 全体 12.1% 45時間超 小学校 46.5% 高等学校 46.3% 中学校 70.8% 特別支援学校 23.0% (令和2年度)	80時間超 全て0% 45時間超 全て令和2年度の現況値3分の1以下 (令和6年度達成を目指し、その後も80時間超0%維持及び45時間超の減少を目指す)	施策2

○ 子どもたち一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せである「Well-being」を実現していくためには、社会の課題に主体的に向き合い、多様な他者と協働して解決に向かう力を育てていくことが不可欠です。

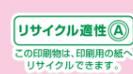
○ 本計画では、福島の良さを大切に「福島ならではの」教育を進めるとともに、それを実現するため、一方通行の画一的な授業から個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びへと変革していく「学びの変革」を掲げました。

**第7次福島県総合教育計画とは・・・**

○ 今後9年間を見据えた福島県の教育を進めていくための指針です。

○ 県総合計画を踏まえた教育分野の計画です。

○ 教育基本法に基づく本県の教育振興基本計画です。





## 育成したい人間像

急激な社会の変化の中で、

**自分の人生を切り拓くたくましさ**を持ち、

**多様な個性**をいかし、**対話と協働**を通して、

**社会や地域を創造することができる人**

## 学びの方向性

### 「福島ならではの」教育の充実

#### ○「福島らしさ」をいかした多様性を力に変える教育

- ・ 福島の課題を題材とした学び。
- ・ 他者との対話と協働、新たな技術や方法、価値の創造、多様性の尊重等を学ぶ、多様性を力に変える教育。

#### ○福島で学び、福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育

- ・ 福島の良さ(豊かな文化や歴史、自然環境、第1次産品等)をいかした学び。
- ・ 生まれた場所や将来働く場所は異なったとしても、福島県で学び育つ過程で、福島県に誇りを持つことができる教育。



▲哲学対話



◀川の生き物調査

## 実現に向けて

## 第7次総合教育計画の施策の展開

### 〈学びの変革〉

- 全ての子どもに必要な力を育成するため、一方通行・画一的な授業等から、「**個別最適化された学び**」、「**協働的な学び**」、「**探究的な学び**」へと学び方の変革を進めること。
- 子どもたちが、学ぶ意義を、学ぶ過程で自ら見いだしていけるような学びを進める。

探究的な  
学び

個別最適化  
された学び

協働的な  
学び

### 〈学校の在り方の変革〉

- 「子どもたち一人一人に必要な力を確実に育成していく」という本来の学校の役割を果たすことができるよう、学校・家庭・地域が広く認識を共有し、学校の在り方の変革を進めること。
- 働き方改革等により質の高い教育活動を展開する。

## 学びの変革を柱として、6つの施策を展開

## 「福島ならではの」教育とSDGs

- ① 本計画に基づく施策を展開することで、SDGsに掲げられた誰一人取り残さない包摂性のある持続可能な教育環境を目指します。
- ② 本計画に基づき子どもたちを育成することで、福島県の復興・創生のみならずSDGsの17の目標の達成につなげます。
- ③ SDGsの視点を踏まえた探究的な学びを推進します。



SDGsの視点をいかし、「福島ならではの」教育を推進



<b>施策1</b> <b>「学びの変革」によって資質・能力を確実に育成する</b>	<b>施策4</b> <b>福島で学び、福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育を推進する</b>
<b>施策の方向性</b> 様々な教育活動の中で対面とオンライン、紙とデジタル等を組み合わせ、画一的な一方通行の授業等から個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びへと変革し、子どもたちに必要な資質・能力を確実に育成します。	<b>施策の方向性</b> 福島県で学んだ子どもたちが福島県に誇りを持つことができるよう、学校と地域の連携・協働や地域をフィールドとした探究的な学びの推進等により、「福島を生きる」教育を目指します。
<b>施策2</b> <b>「学校の在り方の変革」によって教員の力、学校の力を最大化する</b>	<b>施策5</b> <b>人生100年時代を見通した多様な学びの場をつくる</b>
<b>施策の方向性</b> 働き方改革の推進や教員の養成・採用・研修の充実等により学校の在り方を変革し、教員が主体的に学び、やりがいを持って働くことができる持続可能な教育環境を構築することで、教員の力、学校の力を最大化します。	<b>施策の方向性</b> 健康マネジメント能力など生涯学び続ける力の育成に取り組むとともに、多様なニーズに応えられる社会教育施設の充実や、地域に根ざした文化芸術資源の有効活用等により多様な学びの場をつくります。
<b>施策3</b> <b>学びのセーフティネットと個性を伸ばす教育によって多様性を力に変える土壌をつくる</b>	<b>施策6</b> <b>安心して学べる環境を整備する</b>
<b>施策の方向性</b> 誰一人取り残すことなく、全ての子どもたちが、可能性や個性を伸ばすことができるよう、子どもたちの状況に応じた教育機会の提供や支援を行うことで、多様性を力に変える土壌をつくります。	<b>施策の方向性</b> 子どもたちが、どの地域の学校でも安心して学ぶことができるよう、少人数教育の充実、施設・設備の整備に取り組みます。